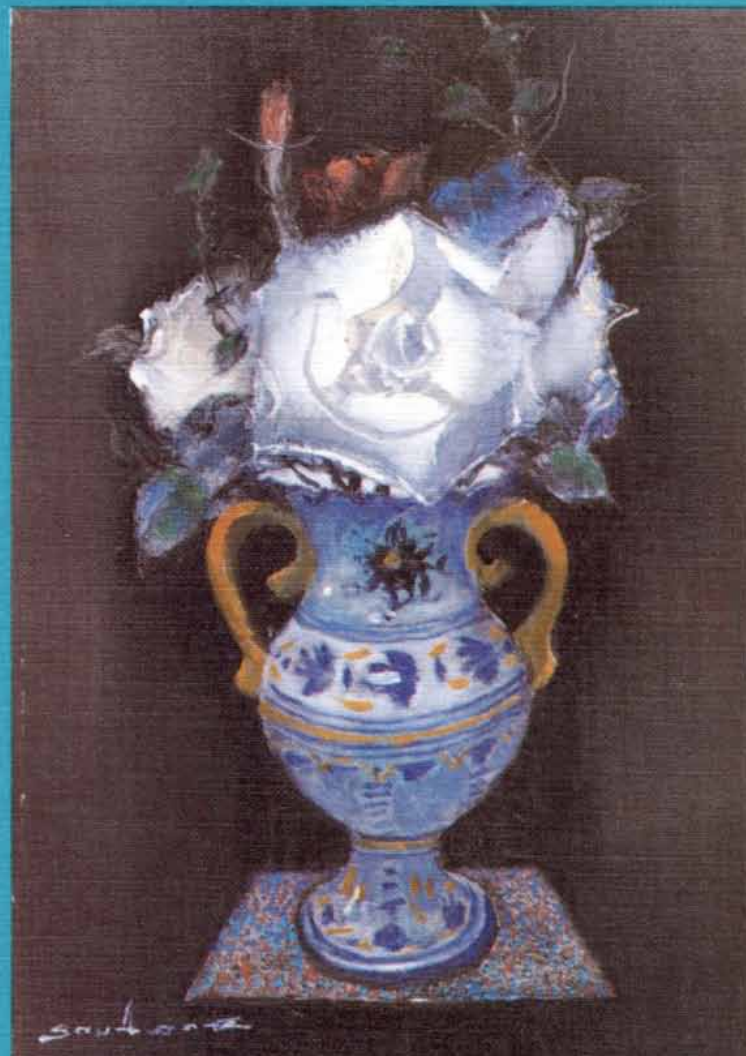


まぼろしの詩
あしたの詩

日本作詩家協会年刊詩謡集

1980年版



詩人の詩としての詩

日本作詩家協会年刊詩謡集

1980年版

序に代えて

石 本 美由起

早いものですね。

年刊詩謡集も、今年で十一冊目になります。

この詩集は、年に一度、お互の健筆を確かめあう詩集です。

だが、それだけでなく、世の中の多くの方々に読んで頂きたい……。

よい作品には、曲を付けて頂きたいのです。

私の欲目ではないが、どの作品にも努力の跡が、うかがわれます。

嬉しいことです。素晴らしいことです。

日本作詩家協会会員には、作詩界の将来を担う使命があります。

その使命を心の誇りとして、これからも割作意欲を燃やして下さい。

(日本作詩家協会理事長)

もくじ

序に代えて……………	石本	美由起……………	一
あゝ指月城……………	飯塚	義美……………	六
あゝ龍馬のように……………	石川	泰久……………	七
愛をいつまでも……………	榊原	康司……………	八
哀子……………	新條	カオル……………	九
逢初坂……………	のたぎ	ひであき……………	一〇
逢いたいあなた……………	益田	清……………	三
あいつ……………	甲斐	新……………	三
愛と呼びたい……………	木谷	鴻治……………	三
愛の終り……………	高野	礼子……………	四
愛の歳月……………	稲葉	爽秋……………	五
愛のさんじゅつ……………	中野	芙美世……………	六
愛の幸せ……………	山口	純……………	七
愛の旅立ち……………	南	早苗……………	八
愛の出発……………	山中	まり……………	九

愛の古巢……………	田村	忠雄……………	三〇
愛の迷い……………	大坂	秀次郎……………	三三
愛はエーゲ海に……………	岐多川	純……………	三三
あかい愛贈ります……………	あかはた	元康……………	三三
あかんたれブルース……………	詩川	しぐれ……………	三三
秋雨慕情……………	中村	葭一……………	三三
あすなる暖簾……………	山上	雅人……………	三三
あたいは女……………	多門	冴子……………	三七
あなたにおぼれた女です……………	阪口	ふみし……………	三六
あなたの苗字に……………	岩崎	吉太郎……………	三六
アルプス野郎……………	たかぎ	かずお……………	三六
あんずの里……………	峰	よしを……………	三六
家出役者……………	やまだ	りゅう……………	三六
潮来化粧……………	平山	忠夫……………	三三
1 (いち)	門井	八郎……………	三三
一途な恋……………	貫井	昭五……………	三三
一輪花……………	秋	ひろし……………	三三
色は匂えど散りぬるを……………	村田	さち子……………	三三
薄雪の京都……………	持田	三郎……………	三三
生れ故郷に嘘はない……………	田中	凡夫……………	三三
海鳴り挽歌……………	剣	あざみ……………	三三
海猫よ……………	加藤	省吾……………	三三
噂……………	神作	光志……………	三三

越後ふるさと太鼓	村岡	兆則	三
エルムの木陰	原	牧江	五
縁切橋	轟	路也	五
大川内山音頭	藤原	逸露	五
お母さん	竹村	勝	七
おさかなだったころ	ほしかわ	ながる	六
おしろい花	鈴木	昭一	六
男太鼓	なかにし	あきら	六
おとめ荘	梅田	幸三	六
乙女の描画	平井	健一	六
おぼの子守唄	菊地	英夫	六
おふくろ笠	小高	勝義	六
覚えていきますか	松居	宏	六
息子(おまえ)よ	愛	行子	六
思い出すなあ	水野	甚太郎	七
思い出橋は渡れない	風見	璦子	六
思いやり	クボタ	ハチゾウ	六
おやじ酒	三宅	立美	七
おやじの子守唄	伊丹	寿一	七
俺のふるさと	能勢	英男	七
俺は生きる俺は愛に	藤間	哲郎	七
オロロンなぞ泣く	谷川	まさる	七
女傘	鈴木	哲郎	七

女と男の息づかい……………	荒木	忠雄……………	亥
女泣かせの雨がふる……………	村田	安広……………	七
女の代償罪の花……………	田村	みどり……………	戌
おんなの夜景……………	ふかまち	じゅん……………	丑
おんな花……………	緑	風六……………	巳
おんな花笠……………	詩	和峯……………	巳
おんな列島ひとり旅……………	田畑	しげき……………	三
海峡の宿……………	木立	雄幸……………	三
海峡星……………	楠里	暁生……………	酉
神楽坂小唄……………	砂見	爽……………	丑
風にさわさわ竹の寺……………	森	茉早子……………	亥
桂川慕情川……………	岡本	和子……………	巳
哀しいときほど女です……………	藤森	宮子……………	亥
枯葉の旅路……………	黒白	ミノル……………	亥
枯れ葉ブルース……………	南	さとる……………	酉
関 係……………	おおとり	汀……………	丑
祇園ぼかし絵……………	鈴木	夜詩夫……………	三
帰 郷……………	四賀	郷子……………	三
汽車どんばやし……………	細川	雄太郎……………	酉
木曾路の恋……………	相馬	日照……………	丑
ギター哀歌……………	岬	二郎……………	丑
ギター小僧和尚さん……………	真弓田	幸一……………	七
北国鉄道……………	千葉	幸雄……………	亥

北千住ひとり酒	杉山	英香	九	
北に咲く花	渡辺	治	一〇	
北の孤島で	三真	啓哉人	一一	
京	扇	成瀬	左千夫	一三
今日だけの人生なら	いと	おまゆみ	一三	
金星台	小谷	健一	一四	
空港別離	夢	虹二	一五	
グッバイ終着駅	松本	交司	一六	
蔵ずまいの町	佐藤	木章	一七	
刑法一七五条抵触	玉木	一史	一八	
検針の歌	伴在	主計	一九	
恋 供 養	みやけ	知絵	二〇	
恋のうしろ髪	中島	清一	二二	
恋の夏祭り	加藤	完二	二三	
恋は四季	高畑	和之	二三	
声はもうかけないで	ふくだ	みのる	二四	
木枯らしの町	松平	史紀	二五	
こころ	石田	龍平	二六	
答	え	平川	昌義	二七
言問	橋	牧	房雄	二八
小春坂	かわうち	登	二九	
今夜は荒れてもいいですか	対馬	慎一郎	三〇	
賽の河原でママの唄	谷田	草路	三三	

酒場に賭けたの	はぜやま	清美	二三
盛り場ネオン	神山	清志	二三
酒泊り	里村	龍一	二四
サヨナラTOKYO	くぼた	ぼく	二五
さよならは突然に	順	はるみ	二六
さよならぶるうす	佐藤	正美	二七
さらばオホーツク	大橋	哲郎	二八
さらば夏の日	工藤	りつお	二九
栈橋どまり	熊谷	孝雄	三〇
幸せ海峡	小林	金次郎	三一
しあわせごっこ	いしだ	みよこ	三三
幸せ知らず	佐藤	進	三三
幸福だろか	新谷	政浩	三四
幸せ話	山本	哲生	三五
失意から	高瀬	臣子	三六
失恋犬吠崎	藤田	鶴之丞	三七
シャボン玉からママ見たら	傳	祖恭	三八
十円ポッキリ子守唄	関沢	新一	三九
巡礼峠	宇山	清太郎	四〇
城下町こころのふるさと	文月	豊	四一
女囚	佐東	たどる	四三
昭とおんな唄	白井	ひさし	四三
昭和ひと桁五十代	相馬	詩彦	四四

白い乳母車……………	おち	としこ……………	一四
白いたんぼの花……………	海老沢	孝一……………	一四
白　い　舟……………	石井	ケイシ……………	一四
白　い　別れ……………	伊井田	朗……………	一四
白　木　蓮……………	土屋	正敬……………	一四
新歌の別れ……………	大森	富士子……………	一五
新宿ぐらし……………	松井	由利夫……………	一五
新宿小唄……………	金子	知司……………	一五
新宿三丁目……………	島本	富美子……………	一五
信じられないんだ……………	伊予	圭相……………	一五
すがり酒……………	飛鳥井	芳朗……………	一五
鈴が鳴る……………	井田	誠一……………	一五
鈴子と友枝……………	荒川	利夫……………	一五
すれちがい……………	神吉	章子……………	一五
青春劇場……………	堺	ナオコ……………	一五
青磁四耳壺……………	若山	かほる……………	一六
センチメンタル恋の果て……………	すぎき	こういち……………	一六
祖国　日本……………	小原	正列……………	一六
そして明けた朝だから……………	わたべ	まちこ……………	一六
その面影よ今いずこ……………	中川	連……………	一六
微風のうた……………	三島	迪之助……………	一六
ダーティ・スキャンダル……………	有田	多賀子……………	一六
宝　　の　　畑……………	水上	幸子……………	一六

たそがれの街	藤本良公	一六
たそがれ波止場	大澤陽央	一六
狸ばやし	富山柴峰	一七
溜息挽歌	斎藤卓	一七
小さな親切の歌	本間繁義	一七
散って アカシア	井上信子	一七
対馬暖流	渡辺千楨	一七
釣人	鈴木宗敏	一七
摘んで下さい真赤な花を	市川武志	一七
東京樹海	小林すみ江	一七
東京ぼへみあん	塚谷清一	一七
凍結の愛	中山二夫	一七
父ちゃん待ち待ち子守唄	大月流	一八
都会ぐらしにつかれた夜	柴田かずゆき	一八
と金人生	星秀和	一八
脇差が命の旅ガラス	村山つとむ	一八
嫁ぐ日に	星合節子	一八
泣いてます	山田博康	一八
長生きしなきゃ損だぜ	浅野哲秋	一八
流れ鳥・流れ花	柴田よしかず	一七
渚通りの女	西沢爽	一八
渚のビーナス	植田竹雄	一八
泣くな下っ端	忍一歩生	一八

夏のおわりに	大野	卓	一九一
涙の影法師	こばやし	克至	一九三
涙の果てに	萩原	秀夫	一九三
涙まじりのユキコです	おいだ	みのと	一九四
憎い奴	帯谷	瑛之介	一九五
荷物	古野	哲也	一九六
人間劇場	大久保	正弘	一九七
ネオン動物園	児玉	まさし	一九八
野仏の径	村上	文恵	一九九
飲んで酔うしかありません	河井	哲治	二〇〇
墓まいり	古頃	正章	二〇一
はじめての季節の中で	五十川	式部	二〇三
鳩は翔んで行く	横井	弘	二〇三
花のお役者船	たなか	ゆきを	二〇四
花嫁すがた	込山	為安	二〇五
離れてもあなたを	栗沢	涼	二〇六
ハルピンのメモリー	越野	みのる	二〇七
挽歌の町から	志賀	大介	二〇八
ピアノ弾き	礼	恭司	二〇九
肥後の子守唄	岩瀬	ひろし	二一〇
陽だまり	横山	光夫	二一一
独りごと	石本	美由起	二一二
風色	松生	静	二二三

ふたり時雨……………	美奈月	一夫……………	二四
冬のろの岬……………	息吹	詩郎……………	二五
冬木立の中で……………	南	由紀……………	二六
ふる里を忘れたのですか……………	仁礼	美智雄……………	二七
故郷のトンネル……………	北條	新太……………	二八
ふるさと物語……………	さとろ・いくこ	……………	二九
別離……………	表	八千代……………	三〇
望郷の詩……………	宮田	隆……………	三一
北極星の凍る街……………	高上	あゆむ……………	三二
ほろ酔い酒場……………	高橋	直人……………	三三
マイ・スイート・ハート……………	上野	たけし……………	三四
待たせたね……………	小林	すみ子……………	三五
またの逢う日を……………	渡辺	和於……………	三六
マドロス酒場……………	青木	三郎……………	三七
迷い坂他人街……………	江口	洸慧……………	三八
マリモ哀詩……………	小島	高志……………	三九
見返り坂……………	池上	信……………	四〇
湖のまち母のまち……………	田村	和男……………	四一
水のない川……………	折戸	勝史……………	四二
乱れ髪……………	池田	充男……………	四三
みどりのバラを……………	安芸	浩海……………	四四
美濃の里には母がいる……………	淡島	千佳夫……………	四五
めぐりあい……………	宇都木	正次……………	四六

めぐりあい	倉島	正己	二二七
めぐり逢いラブ	皆川	エリ依	二三六
目覚まし時計が鳴る前に	黒瀬	泰宏	二三九
雪の北陸恋吹雪	むらやま	たけし	二四〇
夕空の祈り	広里	多美	二四二
夕鶴日記	鳥羽	貞子	二四三
酔いがさめたらマッチがひとつ	松崎	暎子	二四三
酔いざめ	秋田	泰治	二四四
酔いどれキリギリス	鮎川	公正	二四五
よこはま恋の夜	豊原	史丈	二四六
よこはまらぶらぶら	増子	善典	二四七
夜と女のあいだ	佐久間	常夫	二四八
夜のかげろう	小川	比富美	二四九
夜のこゝと	大屋	哲夫	二五〇
夜の雌猫	天龍	掬雪	二五二
夜のバラード	松本	摂子	二五三
ライスカレ	山上	路夫	二五三
ライト・ブルーの彼方へ	眇田	栄一	二五四
ラブ・バード・ストーリー	はせべ	ゆり	二五五
ルージュの日記	折井	一光	二五六
留守番電話	佐藤	つた	二五七
るすばんでんわ	戸成	ふさ栄	二五八
流転の女	はやし	しげる	二五九

煉	獄	英	玲	二	二六〇
若い瀬戸大橋	細川	憲哉	二六二		
わが運命よ	松本	敦央	二六三		
わがま	渡辺	久士	二六三		
別れのシナリオ	咲山	道雄	二六四		
わたしの言い分	真樹	亜矢	二六五		
私の心はしめりがち	米沢	誠造	二六六		
わたしは人形	都城	光	二六七		
私も若くはないけれど	古神子	民雄	二六八		
忘れなさいの季節	いとう	恵みこ	二六九		
忘れんぼ	いばら	城	二七〇		
ワンシーズン	松尾	ゆきを	二七一		
	題字	西沢	爽		
	表紙	荒船利雄			